

## 第3章 計画の基本的な考え方

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 目指す地域福祉の姿（基本理念）

本市では、これまでも住民一人ひとりがつながりを大切にし、誰もが疎外感を抱くことなく、支え合いの輪が築かれ、「これからもこの地域で暮らしたい」という「安心感」を得られる地域社会の実現を目指してきましたが、地域では“つながり”の希薄化が住民アンケートや住民座談会を通じてみえてきました。

こうした地域の状況と向き合い、住民が困りごとに「気づく」きっかけをつくり、みんなで福祉を「担う」人づくりを進め、多様な支援に「つなぐ」体制を整え、いつでも「安心できる」地域づくりに取り組んでいくために、“つながり”は本市の地域福祉の推進に不可欠です。これまでの理念を継承しつつ、新たに“つながり”というキーワードを加え、誰もが「我が事」として地域に参画し、世代を超えて互いに支え合う「地域共生社会」を共に築いていくという想いを込めて、基本理念を「みんながつながり 安心していきいきと暮らせるまち いわぬま」とします。

みんながつながり

安心していきいきと暮らせるまち いわぬま



## (1) 地域共生社会について

「地域共生社会」とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会のことです。

こうした「地域共生社会」の実現に向けて、地域住民の地域活動への参加を活発にするための環境整備や、分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整を行う包括的な支援体制づくりを進めます。

図表 地域共生社会について



### 地域課題の解決力の強化

- 住民相互の支え合い機能を強化、公的支援と協働して、地域課題の解決を試みる体制を整備【29年制度改革】
- 複合課題に対応する包括的相談支援体制の構築【29年制度改革】
- 地域福祉計画の充実【29年制度改革】

### 地域を基盤とする包括的支援の強化

- 地域包括ケアの理念の普遍化: 高齢者だけでなく、生活上の困難を抱える方への包括的支援体制の構築
- 共生型サービスの創設【29年制度改革・30年報酬改定】
- 市町村の地域保健の推進機能の強化、保健福祉横断的な包括的支援のあり方の検討

### 「地域共生社会」の実現

- 多様な担い手の育成・参画、民間資金活用の推進、多様な就労・社会参加の場の整備
- 社会保障の枠を超え、地域資源(耕作放棄地、環境保全など)と丸ごとつながることで地域に「循環」を生み出す、先進的取組を支援

- 対人支援を行う専門資格に共通の基礎課程創設の検討
- 福祉系国家資格を持つ場合の保育士養成課程・試験科目の一部免除の検討

### 地域丸ごとのつながりの強化

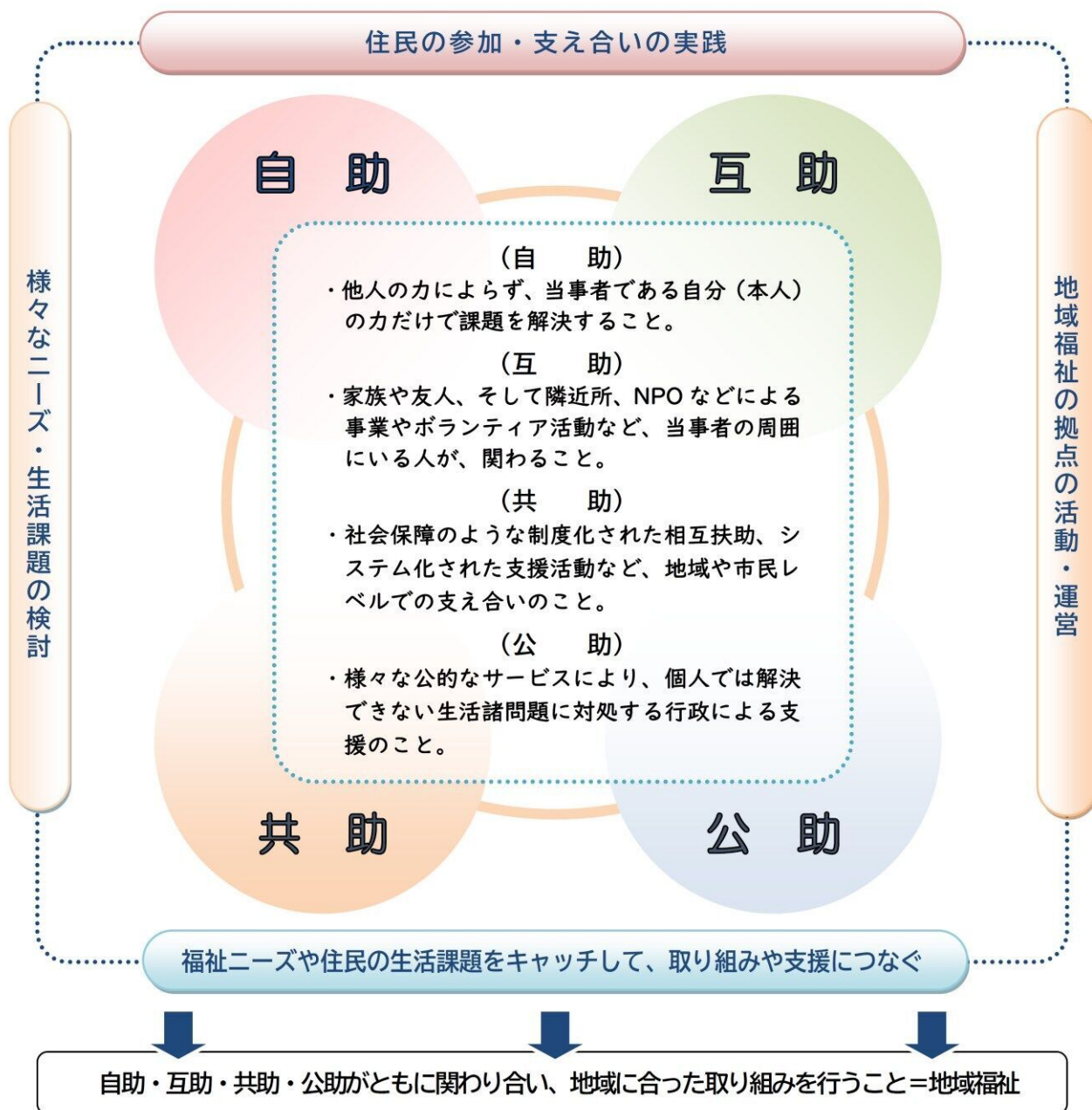
### 専門人材の機能強化・最大活用

資料：厚生労働省地域共生社会のポータルサイト・「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部資料より一部抜粋

## (2) 自助・互助・共助・公助による支え合い

本計画では、下図のように、自助・互助・共助・公助が相互に関わりながら、高齢、障害、子育て、その他様々な事情から支援が必要となっても、共に支え合いながら、誰もが自分らしく、自立した生活が送れるよう地域福祉を推進します。

図表 地域での支え合いの考え方

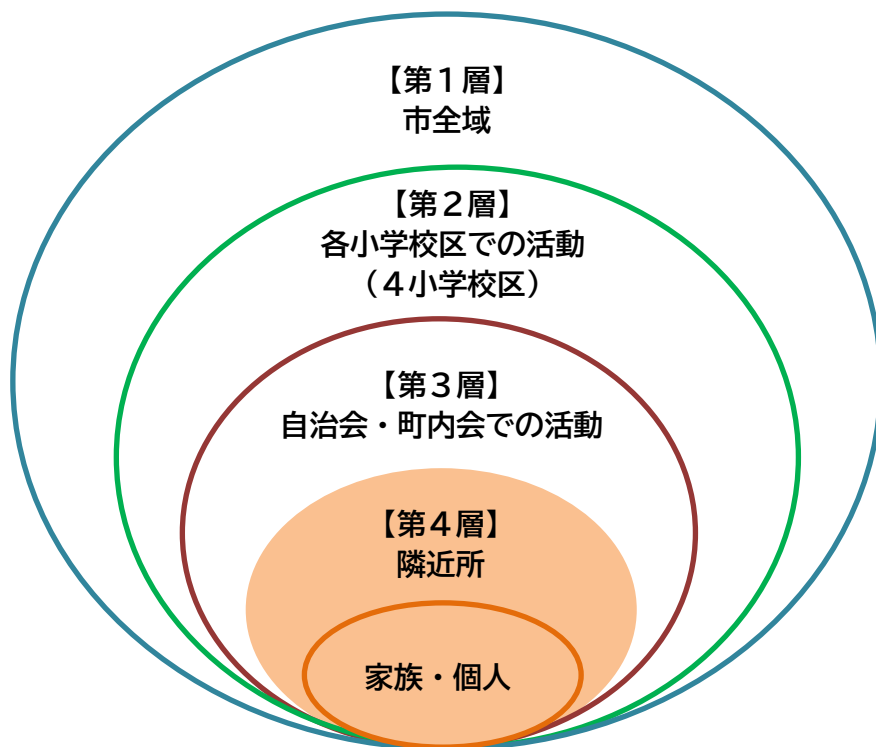


### (3) 地域福祉を推進するための圏域と役割

一言で「地域」といっても、その捉え方は年齢や活動団体等によって異なることが考えられます。そのため、地域福祉を住民主体で進めていくためには、日常生活を送るうえで、あいさつや顔の見える範囲から、保健・医療・福祉サービスとの連携、広域による支援の検討が必要な圏域まで、様々な課題に対応した範囲の設定が必要となります。

本計画では、以下の4層構造を地域福祉の範囲とし、それぞれが地域福祉を推進する役割を担います。

図表 地域福祉を推進するための圏域と役割



#### ○ 市全域【第1層】(公助の展開)

- ・地域福祉行政を全体的に調整する圏域であり、市全体の取組を推進するなど、広域的な調整を行う。

#### ○ 4つの地区と地域の福祉関係者を基盤とする圏域【第2層】(共助の展開)

- ・「岩沼小学校区」、「岩沼南小学校区」、「岩沼西小学校区」、「玉浦小学校区」の4つの小学校区を基本とした圏域で、福祉施策において具体的な活動を行う。

#### ○ 隣近所～自治会・町内会等の圏域【第3層・第4層】(互助の展開)

- ・日常的な見守り活動や助け合い、災害時の安否確認や避難支援などを行う。
- ・普段からのあいさつや声かけを行うことで「顔の見える関係づくり」を行う。

#### ○ 家族・個人(自助の展開)

- ・個人や家庭による自助努力(自分でできることは自分ですること)、災害時に向けた日ごろの備えなどを行う。

**(参考) 地区カルテ**

地区カルテは、市全域（第1層）、各小学校区（第2層）に分けて、人口等の統計情報や、アンケート調査による住民意識をまとめたものです。

アンケート調査の住民意識では、「ア 地域の支え合いの状況」、「イ 支え手・受け手の状況」、「ウ 福祉や制度への関心・関わりについて」、「エ 地域の暮らしやすさ・生活環境」、の4つの視点から、市全体と5%以上の差があった項目を地区の「強み」「取組のポイント」と定義し、市全体の住民意識と比較を行いました。

また、住民座談会と支援者座談会に参加した住民や支援者から多くの意見がありましたので、「住民座談会・支援者座談会での主な発言内容のまとめ」にその一部を掲載しました。

市全域（第1層）及び各小学校区（第2層）の地区カルテは、次ページからのとおりです。

**(参考) 開催座談会について****【住民座談会】**

開催日	開催場所	町内会名
令和7年2月22日（土）	三軒茶屋地区集会所	早股下二町内会（玉浦小学校区）
令和7年3月16日（日）	稲荷町公会堂	稲荷町町内会（岩沼小学校区）
令和7年4月20日（日）	志賀地区集会所	志賀町内会（岩沼西小学校区）
令和7年4月26日（土）	押分生活センター	押分町内会（岩沼南小学校区）

**【支援者座談会】**

開催日	開催場所	参加団体
令和7年8月20日（水）	岩沼市役所6階第1会議室	地域包括支援センター（4か所） 相談支援事業所（3か所） 子育て支援センター（4か所） 岩沼市民生委員児童委員協議会（8名） 岩沼市社会福祉協議会（4名）

● 市全域（第1層）の地区カルテ（回答数：828人 ※地区無回答者14人を含む）

市全体の特徴	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩沼市全体としては、地域における人々のつながりや支え合い、また福祉への関心について、一定の基盤があります。</li> <li>・地域活動の活性化、支援ニーズへの対応力向上、福祉サービスや相談窓口等の情報提供の強化、そして生活環境の充実に向けた取組が、地域福祉を進めるうえでの主要な課題とみられ、さらなる強化や課題への対応が必要であることが示されています。</li> </ul>	

① 人口・世帯・高齢化率			
総人口	42,960人	世帯数	19,120世帯
高齢者数	12,077人	一人暮らし高齢者世帯数	2,606世帯
高齢化率	28.1%	令和6年度末現在	

② 住民意識	
ア 地域の支え合いの状況	イ 支え手・受け手の状況
<p>地域や近隣の方との親しい付き合いがある <b>44.3% (市全体)</b></p> <p>地域活動やボランティア活動などが活発である <b>29.9% (市全体)</b></p> <p>地域にはいざというときに助け合う気風がある <b>48.4% (市全体)</b></p> <p>日常生活や地域活動の中で、差別や偏見は感じない <b>71.3% (市全体)</b></p> <p>困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人がいる <b>52.3% (市全体)</b></p> <p>悩みを相談したり、助けを求めることのためにためらいを感じることはない <b>50.2% (市全体)</b></p>	<p>(※) 暮らしの中での困りごとがある <b>48.7% (市全体)</b></p> <p>災害時に高齢者や障害者の避難支援に参加したい <b>59.3% (市全体)</b></p> <p>町内会など地域社会の活動に参加している <b>55.1% (市全体)</b></p> <p>(※) 支援が必要になったとき、支援をしてほしい <b>76.2% (市全体)</b></p> <p>支援が必要な方でできる範囲で支援したい <b>17.5% (市全体)</b></p> <p>支援が必要な方で3つ以上ある <b>62.9% (市全体)</b></p>

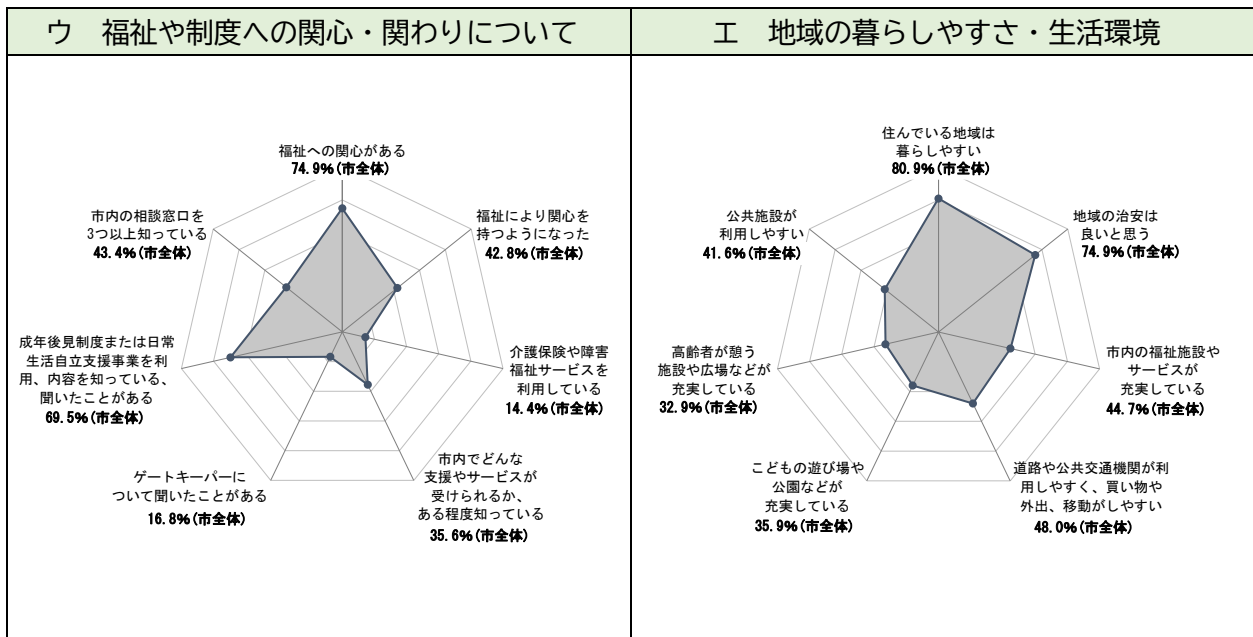
(※) については値が小さいほど地区の状況が良い項目



早股下二町内会（玉浦小学校区）



稲荷町町内会（岩沼小学校区）



住民座談会・支援者座談会での主な発言内容のまとめ

各地区の総括

- 各地区で挙がる課題については、高齢化とそれに伴う担い手不足が多くの地区で話し合われました。
- 子育て世帯が多い地区もみられる中で、世代を問わない地域での交流について、活性化を求める声もみられます。
- こどもの遊び場や公園が少ない、子ども会や交流の場が少ないという課題があり、こどもが安心して遊べる場の必要性が挙がっています。
- 一部地域での交流の希薄化も課題として挙がる中で、困っている人と支援できる人のマッチングを求める意見がみられました。
- 地区により、交通の便が良い地区、不便な地区がみられ、公共交通機関の利便性について意見がみられました。



志賀町内会（岩沼西小学校区）



押分町内会（岩沼南小学校区）

● 岩沼小学校区（回答数：193人）

地区の特徴	
<p>・住民意識では、「地域や近隣の方との親しい付き合いがある」（38.4%）、「地域活動やボランティア活動などが活発である」（23.3%）、「地域にはいざというときに助け合う気風がある」（41.5%）、「困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人がいる」（44.1%）など、地域の支え合いに関する多くの項目で市全体より低い割合を示しています。</p> <p>・「市内の福祉施設やサービスが充実している」（37.3%）、「道路や公共交通機関が利用しやすく、買い物や外出、移動がしやすい」（41.4%）、「こどもの遊び場や公園などが充実している」（27.4%）、「高齢者が憩う施設や広場などが充実している」（25.9%）など、生活環境に関する項目でも市全体より低い評価となっています。</p> <p>・上記の特徴から岩沼小学校区では、地域内の人間関係の希薄化や活動の停滞、生活を支えるインフラやサービスの不十分さが課題として認識されており、これらを改善していくことが地域福祉を推進するうえで重要であると考えられます。</p>	

① 人口・世帯・高齢化率			
総人口	10,430人	世帯数	4,986世帯
高齢者数	3,087人	一人暮らし高齢者世帯数	767世帯
高齢化率	29.6%	令和6年度末現在	

② 地区の住民意識

😊 : 市全体より5%以上高い (強み)

💡 : 市全体より5%以上低い (取組のポイント)

ア 地域の支え合いの状況	イ 支え手・受け手の状況
<p>地域や近隣の方との親しい付き合いがある 38.4% (地区) / 44.3% (市全体)</p> <p>地域活動やボランティア活動などが活発である 23.3% (地区) / 29.9% (市全体)</p> <p>地域にはいざというときに助け合う気風がある 41.5% (地区) / 48.4% (市全体)</p> <p>日常生活や地域活動の中で、差別や偏見は感じない 68.4% (地区) / 71.3% (市全体)</p> <p>困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人がいる 44.1% (地区) / 52.3% (市全体)</p> <p>悩みを相談したり、助けを求めることのためにためらいを感じることはない 51.8% (地区) / 50.2% (市全体)</p>	<p>(※) 暮らしの中での困りごとがある 49.2% (地区) / 48.7% (市全体)</p> <p>災害時に高齢者や障害者の避難支援に参加したい 60.1% (地区) / 59.3% (市全体)</p> <p>支援が必要な方にできる範囲で支援したい 17.1% (地区) / 17.5% (市全体)</p> <p>支援が必要な方にできることが3つ以上ある 63.8% (地区) / 62.9% (市全体)</p> <p>町内会など地域社会の活動に参加している 47.7% (地区) / 55.1% (市全体)</p> <p>(※) 支援が必要になったとき、支援をしてほしい 74.0% (地区) / 76.2% (市全体)</p>

(※) については値が小さいほど地区の状況が良い項目

ウ 福祉や制度への関心・関わりについて	エ 地域の暮らしやすさ・生活環境
<p>福祉への関心がある 71.5% (地区) 74.9% (市全体)</p> <p>市内の相談窓口を3つ以上知っている 43.0% (地区) 43.4% (市全体)</p> <p>福祉により関心を持つようになった 40.9% (地区) 42.8% (市全体)</p> <p>介護保険や障害福祉サービスを利用している 14.0% (地区) 14.4% (市全体)</p> <p>市内でどんな支援やサービスが受けられるか、ある程度知っている 36.8% (地区) 35.6% (市全体)</p> <p>ゲートキーパーについて聞いたことがある 16.1% (地区) 16.8% (市全体)</p> <p>成年後見制度または日常生活自立支援事業を利用、内容を知っている、聞いたことがある 69.4% (地区) 69.5% (市全体)</p> <p>■ 市全体 ■ 岩沼小学校区</p>	<p>住んでいる地域は 79.3% (地区) 暮らしやすい 80.9% (市全体)</p> <p>公共施設が利用しやすい 38.9% (地区) 41.6% (市全体)</p> <p>高齢者が憩う施設や広場などが充実している 25.9% (地区) 32.9% (市全体)</p> <p>地域の治安は良いと思う 73.6% (地区) 74.9% (市全体)</p> <p>市内の福祉施設やサービスが充実している 37.3% (地区) 44.7% (市全体)</p> <p>道路や公共交通機関が利用しやすく、買い物や外出、移動がしやすい 41.4% (地区) 48.0% (市全体)</p> <p>子どもの遊び場や公園などが充実している 27.4% (地区) 35.9% (市全体)</p> <p>■ 市全体 ■ 岩沼小学校区</p>
<p>住民座談会・支援者座談会での主な発言内容のまとめ</p>	
<p><u>トークテーマ：町内の困っているところ・地区の課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ こどもの居場所 こどもの遊ぶ所がない/安心して遊べる環境が少ない</li> <li>■ 活動機会や参加の制約 集会が平日のため出席できない</li> <li>■ 人間関係の希薄化 ご近所付き合いをされている世帯が少ない</li> <li>■ 町内会の担い手不足・役員負担 人数が少なく役員が早く回ってくる</li> <li>■ 生活環境の課題 夜の道が暗い/イベント時の車の移動が大変/バス停までの行き来が大変</li> </ul> <p><u>トークテーマ：これから取り組みそうなこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日常のあいさつ・交流 日常のあいさつ</li> <li>■ 公会堂を活用した居場所づくり 公会堂でお昼をみんなで食べる/何もしないけど(井戸ばた会議のように)居場所づくりに公会堂を使うこと</li> <li>■ 世代交流型レクリエーション カラオケなどレクリエーション/サロンでこどもとの交流</li> <li>■ 防災力強化・日常の備え 防災訓練</li> <li>■ 見守る活動 町内を家族で散歩する/外灯をつける/困ったときに助け合う</li> </ul>	<p><u>トークテーマ：町内の良いところ・地区の特性、強み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生活インフラが近い 駅・病院・銀行・市役所等が近い</li> <li>■ 良好な近隣関係 みんなが明るいとこ/互いの顔がわかってあいさつできる/親切で、困ったときに声をかけてくれる</li> <li>■ 活動を支えるリーダー・支援者の存在 町内会の役員の方、民生委員・児童委員の方がとても熱心</li> <li>■ 地域の施設・集まれる場の存在 公会堂の前が広いスペースがあってこどもと遊べる所/神社が近い</li> </ul>

● 岩沼南小学校区（回答数：199人）

地区の特徴	
<p>・「地域や近隣の方との親しい付き合いがある」（54.8%）、「地域にはいざというときに助け合う気風がある」（57.3%）、「困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人がいる」（61.8%）など、地域の支え合いに関する多くの項目で市全体より高い割合を示しています。</p> <p>・「福祉への関心がある」（80.4%）も市全体より高く、「市内の福祉施設やサービスが充実している」（50.2%）に対する評価も市全体より高い傾向にあります。</p> <p>・一方で、「こどもの遊び場や公園などが充実している」（28.6%）は市全体より低い評価となっており、特定の生活環境要素については課題意識がみられます。</p> <p>・上記の特徴から岩沼南小学校区では、地域住民同士の良好な関係性を基盤とし、福祉への関心も高いことから、地域での見守りや支え合い活動を進めやすい土壌があるとみられます。今後は、これらの基盤を生かしつつ、課題として認識されている生活環境分野の改善に取り組むことが求められます。</p>	

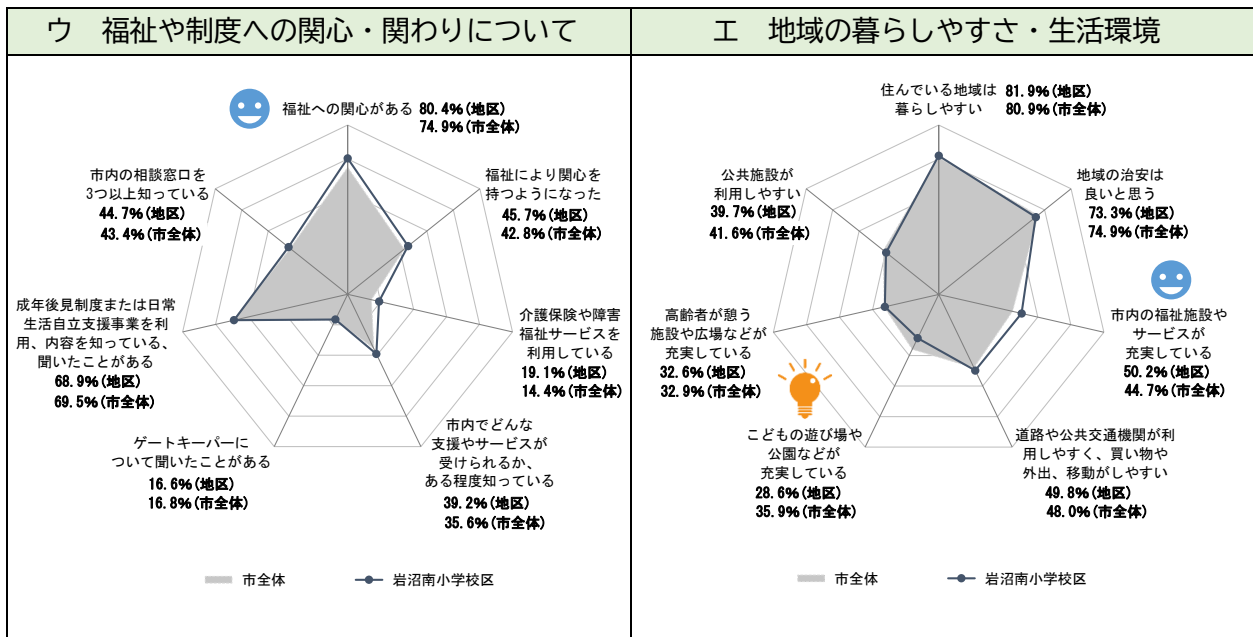
① 人口・世帯・高齢化率			
総人口	10,536人	世帯数	4,744世帯
高齢者数	2,867人	一人暮らし高齢者世帯数	614世帯
高齢化率	27.2%	令和6年度末現在	

② 地区の住民意識

😊 : 市全体より5%以上高い(強み)      💡 : 市全体より5%以上低い(取組のポイント)

ア 地域の支え合いの状況	イ 支え手・受け手の状況
<p>地域や近隣の方との親しい付き合いがある 54.8% (地区) 44.3% (市全体)</p> <p>悩みを相談したり、助けを求めることに対するためらいを感じることがない 48.7% (地区) 50.2% (市全体)</p> <p>困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人がいる 61.8% (地区) 52.3% (市全体)</p> <p>地域にはいざというときに助け合う気風がある 57.3% (地区) 48.4% (市全体)</p> <p>地域活動やボランティア活動などが活発である 32.6% (地区) 29.9% (市全体)</p> <p>日常生活や地域活動の中で、差別や偏見は感じない 69.3% (地区) 71.3% (市全体)</p> <p>市全体      岩沼南小学校区</p>	<p>(※) 暮らしの中での困りごとがある 50.8% (地区) 48.7% (市全体)</p> <p>災害時に高齢者や障害者の避難支援に参加したい 59.3% (地区) 59.3% (市全体)</p> <p>支援が必要な方に参加している 55.3% (地区) 55.1% (市全体)</p> <p>支援が必要な方に参加したい 19.1% (地区) 17.5% (市全体)</p> <p>支援が必要な方に3つ以上ある 62.8% (地区) 62.9% (市全体)</p> <p>(※) 支援が必要になったとき、支援をしてほしい 80.9% (地区) 76.2% (市全体)</p> <p>市全体      岩沼南小学校区</p>

(※) については値が小さいほど地区の状況が良い項目



住民座談会・支援者座談会での主な発言内容のまとめ

トークテーマ：町内の困っているところ・地区の課題

- 集まりの場の不足  
広めの集まりの場所がない
- 地域交流・参加者の不足  
地域交流が少ない/行事など若い人の参加が少ない
- こどもとの交流  
町内会とこどもの接触する機会が少ない/こどもが少なくて友達が作れない
- 支援・見守りの人不足  
防犯のための見守りが少ない/地域の役職者の担い手不足
- 生活環境課題  
バス路線が少ない/道路の騒音問題/ごみを捨てる人がいる

トークテーマ：これから取り組みそうなこと

- 地域のつながりを深める活動  
地域（地区）と行政の懇談会の開催/つながりの強い地域の良さを広める
- こども・子育て世代との交流  
高齢者とこどもの交流の場を設ける/こどもが多くなるような活動
- 高齢者支援・見守りの強化  
高齢者の憩いの機会を作りたい
- 町内会・地域活動の活性化  
組織に若い人を入れたい/役員だけではなくみんなから意見を聞く/みんなで楽しい町内会になるように集まりを多くやりたい
- 安全・防災・生活環境の改善  
防災運動会をもっと盛り上げたい/田んぼの脇に花壇を作る/交通事故に対する取組/防犯に対する取組

トークテーマ：町内の良いところ・地区の特性、強み

- 地域のつながりが強い  
古くからある地区は隣近所とのつながりが強い
- ボランティアや経験者の存在  
ボランティア活動に参加している人が多い/専門職や行政経験者の退職者がいて頼もしい
- 生活環境・施設の充実  
高齢者施設が充実/大型施設にアクセスしやすい/市役所が近い
- 子育て支援の充実  
子育て支援センターがあるため、気軽に相談できる
- 住みやすさ・環境の良さ  
治安が良い/住宅地区で静かで住みやすい/身近にいろいろな店がある

● 岩沼西小学校区（回答数：322人）

地区の特徴	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「暮らしの中での困りごとがある」（41.9%）は市全体より低い割合となっています。</li> <li>・「道路や公共交通機関が利用しやすく、買い物や外出、移動がしやすい」（57.1%）、「こどもの遊び場や公園などが充実している」（47.6%）、「高齢者が憩う施設や広場などが充実している」（38.5%）、「公共施設が利用しやすい」（47.2%）など、生活環境に関する多くの項目で市全体より高い評価となっています。</li> <li>・上記の特徴から岩沼西小学校区は、比較的良好な生活環境が整備されており、それが住民の生活満足度や困りごとの少なさに繋がっていると考えられます。地域福祉の観点からは、この良好な環境を維持・発展させつつ、困りごとを抱える方への支援や、地域内のさらなるつながり強化といった点に注力していくことが考えられます。</li> </ul>	

① 人口・世帯・高齢化率			
総人口	15,640人	世帯数	6,659世帯
高齢者数	4,273人	一人暮らし高齢者世帯数	814世帯
高齢化率	27.3%	令和6年度末現在	

② 地区の住民意識

😊 : 市全体より5%以上高い(強み)      💡 : 市全体より5%以上低い(取組のポイント)

ア 地域の支え合いの状況	イ 支え手・受け手の状況
<p>地域や近隣の方との親しい付き合いがある 39.8% (地区) / 44.3% (市全体)</p> <p>悩みを相談したり、助けを求めるときにためらいを感じることはない 50.9% (地区) / 50.2% (市全体)</p> <p>困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人がいる 49.0% (地区) / 52.3% (市全体)</p> <p>日常生活や地域活動の中で、差別や偏見は感じない 74.6% (地区) / 71.3% (市全体)</p> <p>地域にはいざというときに助け合う気風がある 43.8% (地区) / 48.4% (市全体)</p> <p>地域活動やボランティア活動などが活発である 27.6% (地区) / 29.9% (市全体)</p>	<p>※暮らしの中での困りごとがある 41.9% (地区) / 48.7% (市全体)</p> <p>災害時に高齢者や障害者の避難支援に参加したい 60.9% (地区) / 59.3% (市全体)</p> <p>町内会など地域社会の活動に参加している 57.8% (地区) / 55.1% (市全体)</p> <p>※支援が必要になったとき、支援をしてほしい 75.8% (地区) / 76.2% (市全体)</p> <p>支援が必要な方にできる範囲で支援したい 17.1% (地区) / 17.5% (市全体)</p> <p>支援が必要な方にできることが3つ以上ある 64.3% (地区) / 62.9% (市全体)</p>

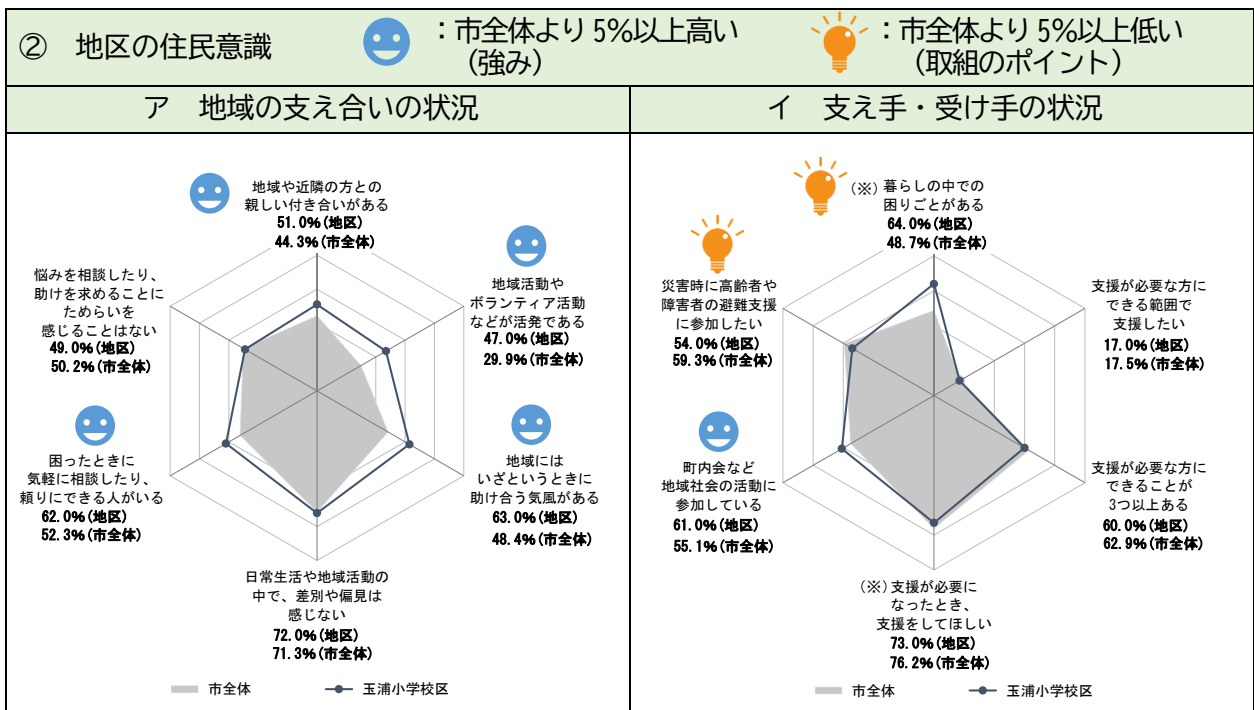
(※) については値が小さいほど地区の状況が良い項目

ウ 福祉や制度への関心・関わりについて	エ 地域の暮らしやすさ・生活環境
<p>福祉への関心がある 74.5% (地区) 74.9% (市全体)</p> <p>市内の相談窓口を3つ以上知っている 43.2% (地区) 43.4% (市全体)</p> <p>福祉により関心を持つようになった 41.6% (地区) 42.8% (市全体)</p> <p>介護保険や障害福祉サービスを利用している 13.0% (地区) 14.4% (市全体)</p> <p>市内でどんな支援やサービスが受けられるか、ある程度知っている 34.5% (地区) 35.6% (市全体)</p> <p>ゲートキーパーについて聞いたことがある 18.6% (地区) 16.8% (市全体)</p> <p>成年後見制度または日常生活自立支援事業を利用、内容を知っている、聞いたことがある 72.4% (地区) 69.5% (市全体)</p> <p>市全体 ● 岩沼西小学校区</p>	<p>住んでいる地域は暮らしやすい 84.2% (地区) 80.9% (市全体)</p> <p>公共施設が利用しやすい 47.2% (地区) 41.6% (市全体)</p> <p>地域の治安は良いと思う 77.6% (地区) 74.9% (市全体)</p> <p>市内の福祉施設やサービスが充実している 46.5% (地区) 44.7% (市全体)</p> <p>道路や公共交通機関が利用やすく、買い物や外出、移動がしやすい 57.1% (地区) 48.0% (市全体)</p> <p>高齢者が憩う施設や広場などが充実している 38.5% (地区) 32.9% (市全体)</p> <p>子どもの遊び場や公園などが充実している 47.6% (地区) 35.9% (市全体)</p> <p>市全体 ● 岩沼西小学校区</p>
住民座談会・支援者座談会での主な発言内容のまとめ	
<p><u>トークテーマ：町内の困っているところ・地区の課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢化の進行と担い手不足 町内会役員の担い手不足/見守り支援者自身の高齢化</li> <li>■ 移動・交通の不便さ 車がないと生活しづらい/バスが不便</li> <li>■ 子育て環境の課題 水遊びや無料で遊べる場所がない/公園が遠い</li> <li>■ 地域コミュニティの希薄化 隣近所の関係性が薄い/町内会に加入しない世帯の増加</li> <li>■ 生活環境の悪化 飛行機・新幹線・トラックの騒音/不法投棄/道路脇のごみ</li> </ul> <p><u>トークテーマ：これから取り組みそうなこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域交流・行事の充実 町内会の行事を行い交流を深めたい/家族みんなで参加できる行事を増やしたい</li> <li>■ 公園・遊び場の整備・子ども支援 公園などを増やして移住者を呼び込む活動/夏祭りなどの行事を行う（子ども達も参加できる行事）/今後のために子ども達にとって何か取り組みたい</li> <li>■ 高齢者支援・見守りの強化 高齢者と子どもの世代間交流の機会をつくる/高齢者支援できるよう、輪を広げられるよう声掛けをしていく</li> <li>■ 地域資源・サービス活用の促進 AIバスの利用方法を伝える/地域づくりに理解してもらえる企業を増やす</li> </ul>	<p><u>トークテーマ：町内の良いところ・地区の特性、強み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高い防災力と見守り体制 町内会を中心に防災意識が高い/防災組織がある</li> <li>■ こどもが多く、世代間交流がある こどもが多い/色々な町内会行事で高齢者からこどもまで交流している</li> <li>■ 生活環境の充実 医療機関が多い/スーパーが多く買い物が便利（地域差はある）</li> <li>■ 活動する高齢者が多い 元気な高齢者が多い/ボランティア活動も行う老人会がある</li> <li>■ 自然環境 緑が豊か/育てる野菜がきれいに育つし、おいしい/虫とりができる</li> </ul>

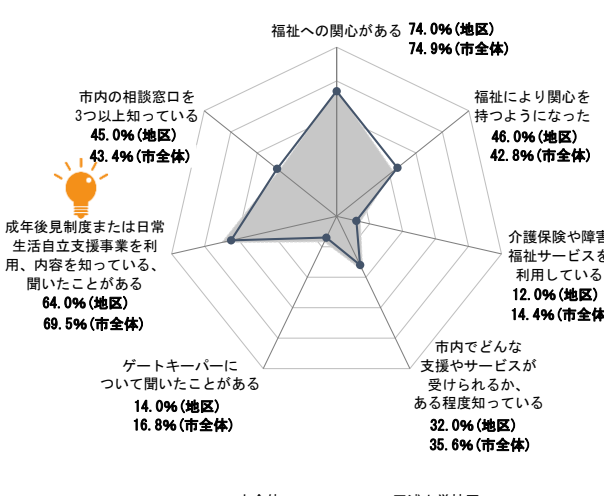
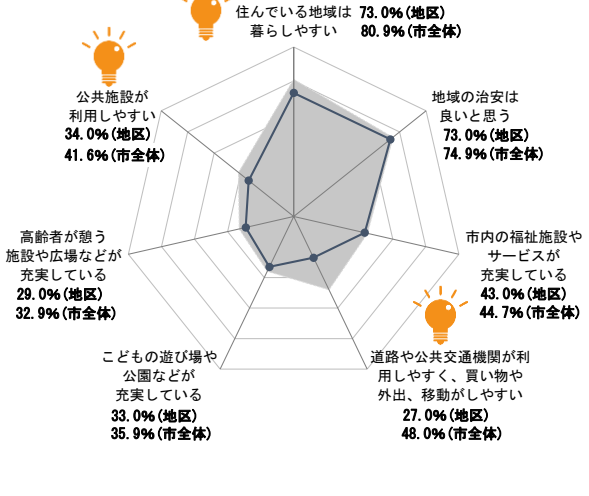
● 玉浦小学校区（回答数：100人）

地区の特徴	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域活動やボランティア活動などが活発である」（47.0%）、「地域にはいざというときに助け合う気風がある」（63.0%）、「困ったときに気軽に相談したり、頼りにできる人がいる」（62.0%）など、地域の支え合いに関する項目で高い割合を示しており、地域内の結びつきが強いことがうかがえます。</li> <li>・一方で、「暮らしの中での困りごとがある」（64.0%）も市全体より非常に高く、強いつながりがありながらも多くの住民が何らかの課題を抱えている状況です。</li> <li>・「道路や公共交通機関が利用しやすく、買い物や外出、移動がしやすい」（27.0%）は市全体より著しく低く、「公共施設が利用しやすい」（34.0%）、「住んでいる地域は暮らしやすい」（73.0%）も市全体より低い評価となっています。これらの生活環境の不便さが、暮らしの困りごとにつながっている可能性が考えられます。</li> <li>・上記の特徴から玉浦小学校区では、地域内の強固な人間関係を地域福祉推進の大きな力として活用しつつ、顕著な生活環境の課題（特に交通や買い物、公共施設利用）への対策を講じ、住民の暮らしの困りごとの軽減を目指すことが、重要な課題であるとみられます。</li> </ul>	

① 人口・世帯・高齢化率			
総人口	6,354人	世帯数	2,731世帯
高齢者数	1,850人	一人暮らし高齢者世帯数	411世帯
高齢化率	29.1%	令和6年度末現在	



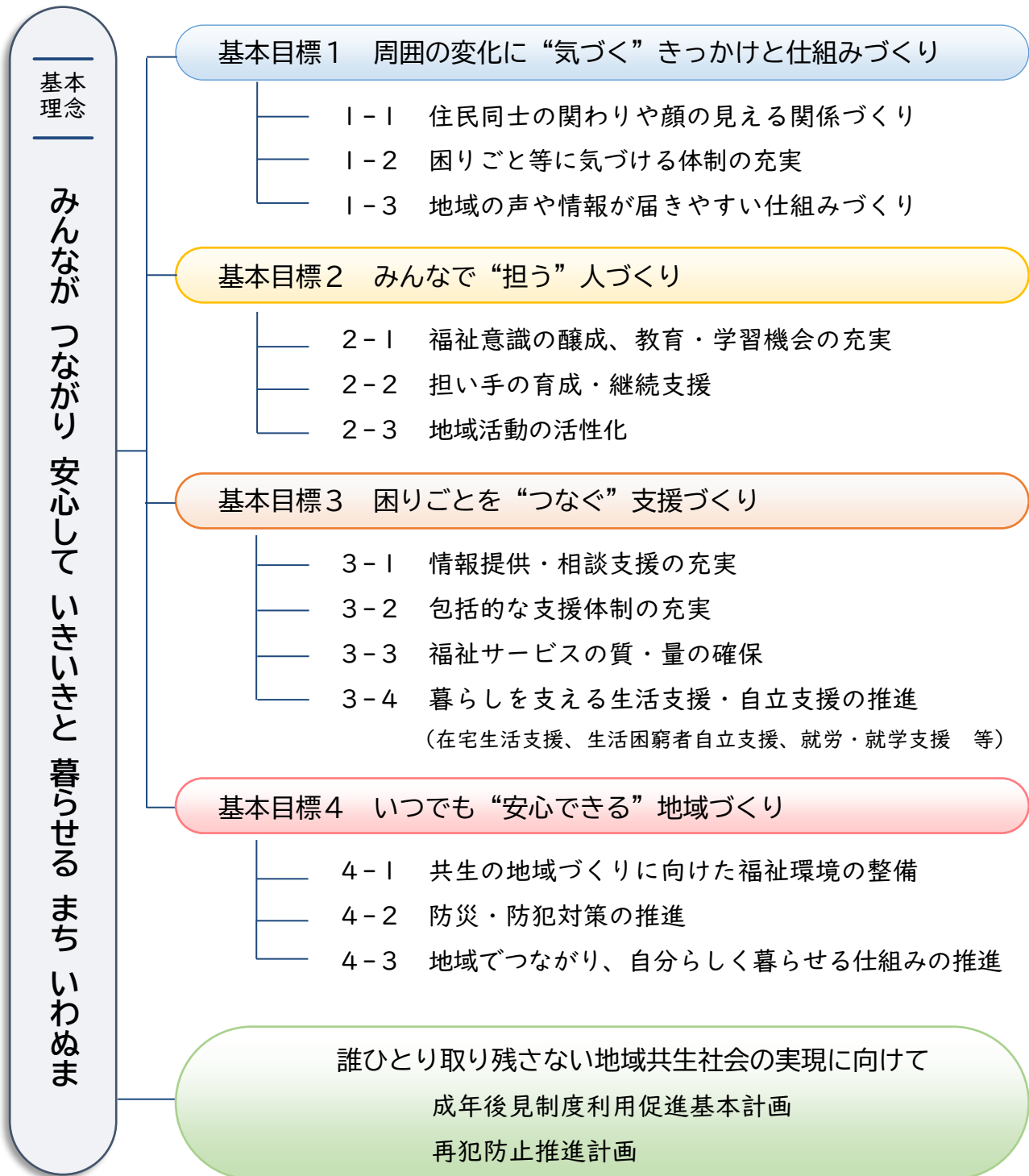
(※) については値が小さいほど地区の状況が良い項目

ウ 福祉や制度への関心・関わりについて	エ 地域の暮らしやすさ・生活環境
 <p>福祉への関心がある 74.0% (地区) 74.9% (市全体)</p> <p>福祉により関心を持つようになった 46.0% (地区) 42.8% (市全体)</p> <p>市内の相談窓口を3つ以上知っている 45.0% (地区) 43.4% (市全体)</p> <p>成年後見制度または日常生活自立支援事業を利用、内容を知っている、聞いたことがある 64.0% (地区) 69.5% (市全体)</p> <p>市内でどんな支援やサービスが受けられるか、ある程度知っている 32.0% (地区) 35.6% (市全体)</p> <p>介護保険や障害福祉サービスを利用している 12.0% (地区) 14.4% (市全体)</p> <p>ゲートキーパーについて聞いたことがある 14.0% (地区) 16.8% (市全体)</p> <p>市全体 玉浦小学校区</p>	 <p>住んでいる地域は暮らしやすい 73.0% (地区) 80.9% (市全体)</p> <p>公共施設が利用しやすい 34.0% (地区) 41.6% (市全体)</p> <p>高齢者が憩う施設や広場などが充実している 29.0% (地区) 32.9% (市全体)</p> <p>子どもの遊び場や公園などが充実している 33.0% (地区) 35.9% (市全体)</p> <p>道路や公共交通機関が利用しやすく、買い物や外出、移動がしやすい 27.0% (地区) 48.0% (市全体)</p> <p>地域の治安は良いと思う 73.0% (地区) 74.9% (市全体)</p> <p>市内の福祉施設やサービスが充実している 43.0% (地区) 44.7% (市全体)</p> <p>市全体 玉浦小学校区</p>
住民座談会・支援者座談会での主な発言内容のまとめ	
<p><u>トークテーマ：町内の困っているところ・地区の課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■交通手段の不便さ 車が必要</li> <li>■担い手不足 役員のなり手がいない/若い人が参加しない</li> <li>■高齢世帯の増加 高齢者が増えている/アパート単身世帯が増えている</li> <li>■交流機会の減少・孤立の進行 交流する機会が少ない/新しい人がわからない</li> <li>■生活環境の課題 買い物が大変/飲食店がほしい</li> </ul> <p><u>トークテーマ：これから取り組めそうなこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■住民の交流促進 サロン継続/お茶会/集会所をもっと利用する/転入者への声かけ</li> <li>■つなぐコーディネート機能の強化 必要な人と物をつなぐ/地域と支援者とのつながり</li> <li>■高齢者支援 声かけ/一人暮らしの避難支援</li> <li>■地域イベントの継続・活性化 元気で楽しめる活動の企画 (カラオケ・お茶会・たこ焼き)</li> </ul>	<p><u>トークテーマ：町内の良いところ・地区の特性、強み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域のつながりが強い 家族・親戚のつながりが強い/隣近所で心配し合う</li> <li>■健康意識が高い 70歳以上でも働いている/サロンや運動教室が多い</li> <li>■地域活動の充実 健康サロン、カラオケ会、地域イベントが続いている</li> <li>■生活環境の良さ 静かで過ごしやすい/景色が豊か/ごみが少なくきれい</li> </ul>

## 2 施策体系

以下の施策体系により、地域福祉の推進に取り組みます。

図表 施策体系



### 3 基本目標

地域福祉の推進に向けた“気づく”、“担う”、“つなぐ”、“安心できる”の4つの視点を踏まえ、本計画の基本理念「みんながつながり 安心していきいきと暮らせるまち いわぬま」の実現に向けた基本目標を掲げます。

#### 基本目標1：周囲の変化に“気づく”きっかけと仕組みづくり

住民一人ひとりが、身近な地域での関わりを通じて、地域で困っている人や悩みを抱えている人の変化に“気づく”きっかけとなるよう、見守りや声かけといった住民同士の関わりや顔の見える関係づくりを進めます。

また、日常のあいさつや立ち話、地域の集まりなどを通じた訪問や交流により、変化や困りごと等に気づける体制の充実を図るとともに、地域の声や情報が行政や支援機関に届きやすい仕組みづくりを推進します。

#### 基本目標2：みんなで“担う”人づくり

住民の誰もが、地域で支え合うことの大切さを学び、みんなで“担う”という意識づくりに向けて、学校教育や生涯学習などを通じて、学習・体験機会の充実を図り、「我が事」として参画し、様々な活動の担い手を育成する人づくりに取り組みます。

また、担い手が継続して活動できるよう支援体制を整えるとともに、多様な主体が連携・協働できる体制の構築に取り組みます。

#### 基本目標3：困りごとを“つなぐ”支援づくり

住民が日常生活の中で何か困りごとを抱えたときに、様々な機会を通じて必要な福祉サービス等につながることで、課題解決に向けた支援を受けられるよう、わかりやすく情報を発信します。

また、支援を必要とする人を早期に発見し、適切な相談や福祉サービス、医療等に“つなぐ”とともに、解決に向けて継続的に取り組めるよう、包括的な支援体制の充実を図ります。

#### 基本目標4：いつでも“安心できる”地域づくり

身近な地域の中でつながりを緩やかに保ちながら、助け合う関係を広げるために、誰もが気軽に集い、交流ができる居場所づくりを推進します。

また、地域における福祉環境の整備や防災・防犯対策を進めることで、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、住民生活の安全安心の確保に努め、いつでも“安心できる”地域づくりに取り組みます。

## 4 誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現に向けて

誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現を目指し、地域福祉施策と整合を図りながら、岩沼市成年後見制度利用促進基本計画や岩沼市再犯防止推進計画を本計画に包含して策定することで、支援の充実に取り組みます。

### 岩沼市成年後見制度利用促進基本計画

国及び宮城県の「成年後見制度利用促進基本計画」を踏まえ、地域に暮らす高齢者や障害のある方をはじめ、財産管理や意思決定に支援が必要なすべての方々が尊厳を持ち、地域で安心して暮らし続けられるよう、成年後見制度のさらなる利用促進を図ります。

また、相談体制の強化や市民後見人の養成、人材の連携、地域連携ネットワークの一層の充実に図り、権利擁護支援を多様な立場の関係者と協働して展開します。制度の認知不足や今後想定される高齢化の進展に伴う支援ニーズの増加を見据え、制度の普及啓発に努めることで、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生きられる支え合いの地域づくりを進めます。

### 岩沼市再犯防止推進計画

国や宮城県の再犯防止推進計画を踏まえ、住まいや仕事の確保、保健医療・福祉サービスとの連携を強化するとともに、地域住民の理解を深め、関係機関との連携体制を整えるなど、罪を犯した方やその家族が孤立することなく、息の長い支援のもとで円滑に地域社会へ復帰できる環境づくりに取り組んでいきます。

また、犯罪や非行の背景にある生活困窮や孤独・孤立の福祉的な問題にも広く対応し、一人ひとりの再出発を地域全体で支援します。

さらに、行政のみならず、保護司やその他関係団体、地域住民など多様な主体が協力し、「誰ひとり取り残さない」安全で安心なまちづくりを目指します。